

美唄市

びばい し

Press Release

(行事・催し物)

件名	美唄まちづくり大学 vol.1「教育で美唄を美しくしよう」の開催について	
実施日	令和6年6月19日(水)	
タイムスケジュール (詳細に記載願います)	日 時	内 容
	17時00分～19時00分	
場 所	美唄市役所大会議室A	
主(共)催	美唄市・株式会社FoundingBase	
開催の趣旨	詳細別紙のとおり	
内 容	詳細別紙のとおり	
参加対象	美唄に関わっている、関わりたいと思っている方どなたでも	
参加人数	先着20名程度(参加者募集中)	
備 考		
担 当 課	広報情報推進課DX・まちづくり推進係 担当 猪俣 電話 0126-62-3137(直通)	

びばい まちづくり 大学

vol.1
教育

で美唄を美しくしよう

#まちの未来はみんなで話そう
#まちづくり×教育ワークショップ

2023年から月1で開催し約170名の方に参加いただいたワークショップが、『美唄まちづくり大学』と名前を変えてリニューアル！

テーマに関する実践者をお呼びして、事例を楽しく学びながら、美唄でできることをみんなで考えます。

新しくなった1発目のテーマは「教育」。
「美唄ならではの学びってなんだろう？」
「子どもたちとこんなことできたらいいな！」
子どもや教育に関わる方はもちろん、たくさんのご参加をお待ちしています！

昨年度は毎回のワークショップから一つ以上のアイディアが実現！

- ① 互いの取組や想いを知り
- ② ワクワクを出し合い
- ③ 一緒に実現まで！

2024年6月19日(水)
17:00-19:00 参加無料

場所：美唄市役所会議室A

対象：教育やまちづくりに興味がある方

申込：メールかQRからお申込みください

✉ bibai.citypr@gmail.com

■ 申込フォームはこちら

6.17(水)



GUEST 地域が子どもたちの
挑戦で溢れるには？

早川大輝さん

まちづくり会社(株)FoundingBase / 教育事業部 マネージャー

日本一の公教育を掲げ、幼保連携型認定子ども園や「自分が「世界」と出会う場所」がコンセプトの小中一貫校など、全国から注目を浴びている北海道安平町。近年子育て世代を中心に移住者が増加し社会増を記録。実際に自身も安平町に移住し、「挑戦」をコンセプトにした社会教育事業『あびら教育プラン』を担当している。



◆美唄シティプロモーション推進事業について

北海道美唄市と、地方を舞台に全国で事業を展開している株式会社 FoundingBase（本社：東京都世田谷区、代表：林(山本)賢司）は、令和 4 年度から美唄シティプロモーション推進事業を進めています。

本事業は、人口減少などの様々な課題が予測される 2040 年を見据えて、市民のシビックプライドの醸成と関係人口・移住人口の増加を目的としています。

当初、美唄市と FoundingBase の話し合いの中で議論になったのが「2040 年の美唄は今の若者によって支えられている。まちの未来は若者たちの感性で考えてもらう方が良いのではないか。」ということでした。そこで令和 4 年度は、これからの指針となる美唄ブランドの構築に向けて、10 代から 30 代の市民 11 人と「美唄の未来に夢を描く委員会」を立ち上げ、「美唄の軸となる魅力」の言語化を進め、その魅力を伝えるためのシンボル（キャッチコピー・ロゴマーク）」を完成させました。

令和 5 年度は、美唄ブランドの確立に向けて、キャッチコピー「Be Beautiful」や B のロゴマークを軸に、SNS での情報発信やワークショップ、イベントを実施しました。結果としてメディア掲載の機会も増え、市内への認知度の向上に繋がりました。

令和 6 年度は、市民が主体的に美唄市の魅力の再発見や、魅力向上を図るアイデアを提言できる場を創出し、さらなる美唄への愛着を高めます。また、美唄ブランドの WEB メディアや広報運用等の情報発信に加え、既存の活動をより深掘りしながら情報発信を行い、美唄市の認知度向上に加え、美唄と関わる意欲を創出していきます。

◆「Be Beautiful」に込めた想い

美しさとは見た目の美しさではなく、幾多の逆境を乗り越えてきた美唄人の生き方そのものであると、「Be Beautiful」という言葉にたどり着きました。B をモチーフにしたロゴマークには、美唄の「唄」を表す音符と、美唄独自の美（ビ）を追求するという想いが込められています。そのプロセスをコンセプトブックやプロモーションムービーとして特設 WEB サイトにまとめ、タペストリーやポスターを市内に掲示しています。

特設 WEB サイト：<https://bibai-citypr.jp/>

◆美唄ブランドの確立に向けたワークショップの定期開催

本事業の市内での認知度を向上させるために、SNS や広報紙での情報発信を行っています。また市民との協働を通してシビックプライドを育むために、「〇〇を美しくしよう。」をテーマにしたワークショップを定期的に行っています。令和 6 年度からは「美唄まちづくり大学」に名前を変え、「〇〇で美唄を美しくしよう」をテーマとし、実践者を招き、事例を楽しく学びながら、美唄でできることを考えていきます。

◆これまでのワークショップ実施

ワークショップでは、シンボルに込めた想いを参加者と共有し、職業や立場を超えて、自分たちが美唄でできることを一緒に考えます。またワークの中で出たアイデアを市民が主体的に実施できるように、企画の補助や情報発信といった伴走支援を行っています。